

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	可児市	学 校 名	可児市立東明小学校			
校 長 名	渡辺 泰司	対象学年	全学年	人 数	309名	
活 動 名	陶芸体験、茶の湯体験		時間数	176時間	継続年数	10年
題 材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） ④ ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） 5 その他（ ）					
複数年継続 するための 工夫改善	○高学年の指導に地域の陶芸指導者を招き専門的な指導を受ける。 ○2学期末に校内陶芸展を開催し、地域や保護者に公開する。 ○茶の湯体験学習においては、地域の指導者を招いて開催するとともに、高学年児童が低学年児童に作法や「おもてなしの心」を教える場を設ける。					

1 ねらい

◎地域に伝わる美濃焼・志野焼について、地域の専門家・関係機関と連携しながら調べたり制作したりする活動や、茶の湯の体験を通して、陶芸に対する興味・関心を高めるとともに、ふるさとについての理解を深め、ふるさとに愛着と誇りがもてるようにする。

2 活動の概要

(1)全学年において陶芸体験を行う。

- ・1年生：抹茶茶碗の絵付け
- ・2年生：皿作り
- ・3年生：野焼きによるシーサー作り
- ・4年生：器作り（佐藤陶芸と連携）
- ・5年生：二色粘土による作品作り（市陶芸苑と連携）
- ・6年生：花瓶作り（市陶芸苑と連携）

(2)全学年において茶の湯体験を行う。

- ・全児童がマイ茶碗を持っていて、6年間使用する。

(3)陶芸・お茶に関する調べ学習を行う。

- ・3年生：お茶について
- ・4年生：久々利地区の陶芸家や美濃焼の歴史について

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子、複数年継続への工夫改善

(1)地域指導者との関わり

- ・古くから陶芸が盛んであった地域の人材を生かし、児童の陶芸体験の講師として招いている。教職員も夏休みに講師を招いて陶芸体験研修を行っている。

(2)校内陶芸展

- ・ふるさと教育週間の期間（11月25日～29日）に、全校児童や職員の作品を展示したところ、地域の方や保護者など、たくさんの方々に観ていただくことができた。
- ・また、期間中の11月29日には、陶芸等でお世話になった地域の方を招いて、5年生が感謝の会を行った。田植え、稲刈り、脱穀等をして自分たちで作ったお米を用いて、午前中に保護者とともに五平餅を作り、午後からは五平餅をふるまったり、踊りを披露したりして、お世話になっている方に感謝の気持ちを表すことができた。

(3)お茶の会

- ・1年生時に絵付けをした抹茶茶碗を用いて、毎年、生活科や総合的な学習の時間に「お茶の会」の体験学習を行い、お点前の作法から「お茶の心」を学んでいる。
- ・1・2年生は、それぞれ6年生と5年生からお茶を点てもらい、3年生以上の児童は、お互いにお茶を点て合った。作法については、地域の茶道の師匠に教えていただいた。ここで身につけた作法を、地域行事の中にある「お茶会」にボランティアとして参加して生かすことも予定されている。

4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

- ・4年生では総合的な学習のテーマを「陶芸」とし、児童が講師の方から陶芸の素晴らしさや歴史について聞いたり、粘土が手の中でみるみる形を変えていく様子を見たりすることで、強いあこがれや高い興味・関心をもって学習を進めることができた。これによって、社会科の学習「伝統的な工業 美濃焼」についても一層を深めることができた。

